

企画展のご案内

(月曜休館・祝日の場合は翌日休館・入館無料)

「郷土を描く展 II」

2月3日(日)～17日(日)

「郷土を描く展 II」は、一昨年の秋に開催した「郷土を描く」展の第二弾です。郷土の良さを再発見し、またそれを子どもたちに伝えたいという気持ちから、糟屋およびその周辺地区に画題を求めて制作した作品を展示します。

出品するのは、糟屋の小学校に勤務し、図画工作科教育の研究と振興に努めている教員とその指導にあっている講師など6人です。展覧会を通じてふるさと糟屋の美しい風景に出会ってください。

出品者

山野 芳朗 笹口 篤 橋本 靖子
木村 辰也 八久保 卓爾 原口 重利



黒門 八久保 卓爾

堀澤 大吉 展

「月はうさぎの夢を見る」

2月23日(土)～3月9日(日)

堀澤大吉展「月はうさぎの夢を見る」は、新宮町在住の画家、堀澤大吉さんの個展です。

うさぎをモチーフとした絵画34点、立体20点の計54点を展示します。誰もが、心の奥深くに持っている“原風景”のようなものに、季節の風や光を織り交ぜた月明かりの中にうさぎが描かれています。堀澤さんが描くうさぎは、お喋りしたり、笑ったり、驚いたり、まるで人間の子どものように豊かな表情をしています。立体作品は、オウムガイ、アンモナイト、ラテメリア(シーラカンス)などの木彫(小品)を展示します。



歴史民俗資料館では、大正・昭和のちょっとレトロなひな人形を展示しています

緑を守り育てる

国体記念樹公園



とびうめ国体を記念して作られた国体記念樹公園

突然ですが、町民のみなさんに質問です。「国体の記念樹公園をご存知ですか？」
大半の人が「えっ、そんな公園どこにあるの?」
と思われるのではないのでしょうか。
平成2年、福岡県で「とびうめ国体」が開催されました。わが須恵町では「なぎなた」、志免町で「相撲」、篠栗町で「フェンシング」の各競技が行われました。

若杉福岡ライオンズクラブ(当時)が中心になって、糟屋郡内の6町に、国体を記念して、全国都道府県の木を植えようということになりました。
須恵町では、上須恵区の一角に30種類ほどの県木を植え、平成13年に佐谷区に運動公園が完成したのを機にそこに移植しました。
国体の記念樹公園は、多目的グラウンドの直ぐ上にあります。

園内には、北海道のエゾマツをはじめ、宮崎県のフエニックス、鹿児島県のカイコウズ、山形県のサクラノボ、長野県のシラカバなど、各県のシンボルとして知られる木が植えられています。また、秋田、三重、高知、京都の4つの府県はスギ、群馬、福井、島根、愛媛の各県は共通してクロマツと、同じ木を県木に指定しています。
こうした都道府県の木を集めた場所として、意外や意外、国会議事堂の敷地内に、昭和45年、議会制度70周年を記念して植えられたものがあります。
ところで、須恵町の国体記念樹公園、一部に枯れた木もあって、印象としては若干さびしい気がしないでもありません。町では将来、直ぐ下にある沈床庭園に移植して、町民に静かに鑑賞してもらう構想も描いています。

(須恵町自然教育推進協議会)

楽しい

考古学

22

須恵焼窯跡の発掘調査を行なっています

昨年度から、福岡藩磁器御用窯跡の発掘調査を行なっています。
発掘場所は、「陶器所跡」と呼ばれている所です。今から、約200年前の江戸時代の絵図には「陶器所跡」の部分に大型の建物が描かれています。文献資料の研究では、福岡藩が須恵焼のために「皿山役所」と呼ばれる役所を設置したことが分かっています。

昨年度から、福岡藩磁器御用窯跡の発掘調査を行なっています。絵図面に描かれている建物があり、その役所にあたる可能性が確認できています。柱穴などは、まだ確認できていませんが、瓦片が出土していることから、建物が建っていたと思われる昨年度の発掘調査では、地面を整理した跡が見つかっています。何らかの遺構があることが確認できました。今年度の調査では、建物の痕跡の有無を確認しています。(啓)



須恵皿山陶器所の図